

衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会ニュース

平成 23.5.20 第 177 回国会第 5 号

5 月 20 日（金）第 5 回の委員会が開かれました。

1 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件（放射線の健康影響について）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）原子力安全委員会委員

琉球大学名誉教授

高木学校 元放射線医学総合研究所主任研究官

医学博士

中部大学教授

久住 静代君

矢ヶ崎 克馬君

崎山 比早子君

武田 邦彦君

（質疑者及び主な質疑内容）

空本 誠喜君（民主）

- ・福島第一原子力発電所事故による住民避難について、強制的な移住を行う場合、避難解除の場合の基準をどのように定めるべきか、久住参考人に伺いたい。
- ・放射線を 1 年間で 100 ミリシーベルト浴びると、10 年間で年間 10 ミリシーベルトずつ浴びるとでは、健康への影響に違いはあるのか、崎山参考人に伺いたい。
- ・年間 20 ミリシーベルトの被曝は、子供、妊婦、胎児の健康に影響があると考えべきか、崎山参考人に伺いたい。

松野 博一君（自民）

- ・放射線による被曝は、発ガン性以外に、どのような健康影響があるのか、崎山参考人に伺いたい。
- ・1～20 ミリシーベルトとされた年間被曝線量の制限の中で、学校を運営していくことが妥当かどうか、矢ヶ崎参考人、崎山参考人及び武田参考人の所見を伺いたい。

斉藤 鉄夫君（公明）

- ・今になってメルトダウンは初期の段階から起こっていたとされるが、原子力安全委員会では、初期段階で想定していたのではないかと、どのような議論を行ったのか、久住参考人に伺いたい。
- ・地球上に生命が生まれて 35 億年経つが、放射線は生命の進化にどのような影響を与えてきたのか、崎山参考人に伺いたい。
- ・浜岡原子力発電所の運転停止に対する武田参考人の見解を伺いたい。

吉井 英勝君（共産）

- ・低放射線量域における確定的影響のしきい値について、久住参考人、矢ヶ崎参考人及び崎山参考人の見解を伺いたい。
- ・事故により放出された様々な核種毎にモニタリング調査を実施すべきとの考えについて、武田参考人及び矢ヶ崎参考人の見解を伺いたい。

阿部 知子君（社民）

- ・SPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測システム）の情報が住民に速やかに伝わらなかった理由について、久住参考人の見解を伺いたい。
- ・住民の被曝歴を個人毎に管理する必要があり、そのため個人管理の手帳を持つようにすべきと考えるが、久住参考人、矢ヶ崎参考人及び崎山参考人の見解を伺いたい。

馳 浩君（自民）

- ・学校における今後のプールの使用について、武田参考人の見解を伺いたい。
- ・飛散した放射性物質に汚染された廃棄物の処理についてのガイドラインを作成すべきと考えるが、久住参考人及び矢ヶ崎参考人の見解を伺いたい。

小川 淳也君（民主）

- ・原子力安全委員会の助言に関する基本的考え方において、政治に配慮した判断を行うことが重要とされている意味について、久住参考人の見解を伺いたい。
- ・1～20 ミリシーベルトとされた年間被曝線量のさらなる低減の時期と程度について、久住参考人の見解を伺いたい。
- ・原子炉への注水による冷却の有効性及びこれ以外の取り得る方法の可能性について、武田参考人の見解を伺いたい。

吉野正芳君(自民)

- ・今回の事故による内部被曝の健康影響について、久住参考人、矢ヶ崎参考人及び崎山参考人の見解を伺いたい。
- ・汚染された土壌の表土の処理方法及び瓦礫の焼却灰の処理方法について、武田参考人の見解を伺いたい。

太田和美君(民主)

- ・放射線が微量であれば良い作用を及ぼすとする放射線ホルミシス効果について、各参考人の見解を伺いたい。
- ・1～20ミリシーベルトとされた年間被曝線量をより低く抑えるための対策を、各省庁に対しどのように働きかけているか、久住参考人の説明を伺いたい。

遠藤乙彦君(公明)

- ・放射線の環境モニタリングは、学問的に見てどの程度のきめ細かさで実施すれば意味のあるモニタリングになると考えるか、武田参考人及び矢ヶ崎参考人の見解を伺いたい。

豊田潤多郎君(民主)

- ・今回の事故においては初動対応にミスがあったのではないかとの見方について、武田参考人の見解を伺いたい。
- ・プルトニウムを利用したMOX燃料を使う3号機の適否について、武田参考人の見解を伺いたい。